

# 第1章 豊川市の緑の現況

## 1-1 自然的条件

### (1) 位置・地勢

本市は、愛知県南東部に位置し、市域面積は160.63km<sup>2</sup>（平成22年4月1日現在）です。周囲は、蒲郡市、岡崎市、新城市、豊橋市と隣接し、市域南部の一部が三河湾に面しています。

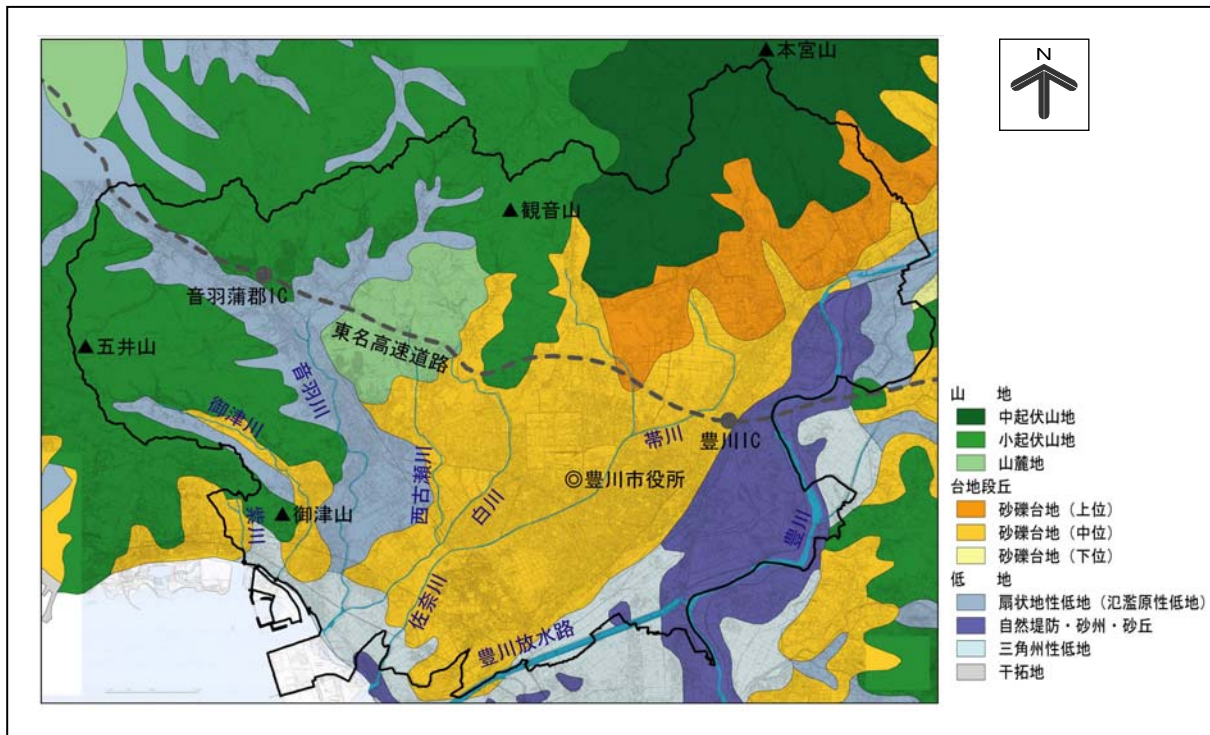
市域北部には木曾山系の本宮山（標高789.2m）をはじめとする山々が連なり、中央部から南部にかけて平野が広がり、一級河川※豊川や二級河川※佐奈川、音羽川などの自然豊かな河川が平野を貫いています。

北部に連なる山地のうち、中央より西側は比較的起伏が緩やかで、都市公園やゴルフ場などのレクリエーションの場としても活用されています。

平野部は、市街地が広がる台地と、豊川により形成された扇状地に大別され、その境界部には河岸段丘が連なっています。



■ 豊川市の位置 ■



資料：1/200,000 土地分類基本調査（国土交通省、昭和49年）

■ 地形分類図 ■

## (2) 気象

本市の天候は、平成16年から平成20年の5年間の平均では、快晴及び晴の日数が年間約219日で約60%、曇りが約109日で約30%、雨及び雪が約38日で約10%となっています。

年間降水量と年平均気温は、平成16年から平成20年の平均ではそれぞれ約1,550mm、約16.6℃となっています。

昭和52年(1977年)から平成20年(2008年)の約30年間で各年の平均気温の変化を見ると、約1.5℃上昇しており、地球温暖化の影響が顕在化しています。

### ■ 年間天候日数 ■ (単位：日)

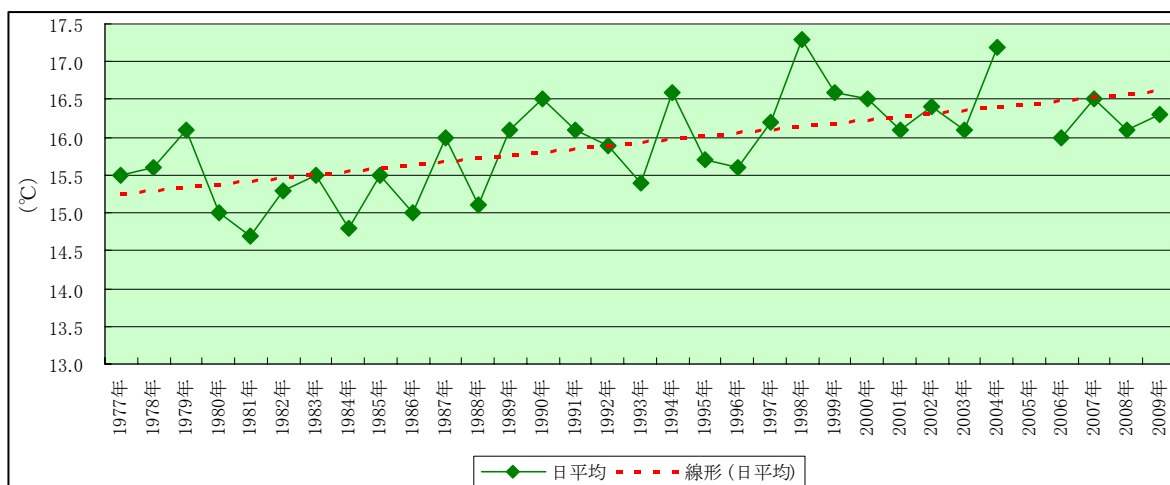
	快晴	晴	曇	雨	雪	計
平成16年	21	215	93	37	0	366
17年	22	188	116	38	1	365
18年	16	175	128	46	0	365
19年	19	199	116	31	0	365
20年	26	212	92	36	0	366
平均	20.8	197.8	109.0	37.6	0.2	—

資料：豊川市の統計（平成20年版）

### ■ 年間降水量、年平均気温 ■

	年間降水量 (mm)	年平均気温 (℃)
平成16年	1,723.5	17.2
17年	1,108.5	16.1
18年	1,766.5	16.4
19年	1,394.5	16.7
20年	1,768.5	16.7
平均	1,552.3	16.6

資料：豊川市の統計（平成20年版）



(注)・2005年は資料不足のためデータを表示していない。

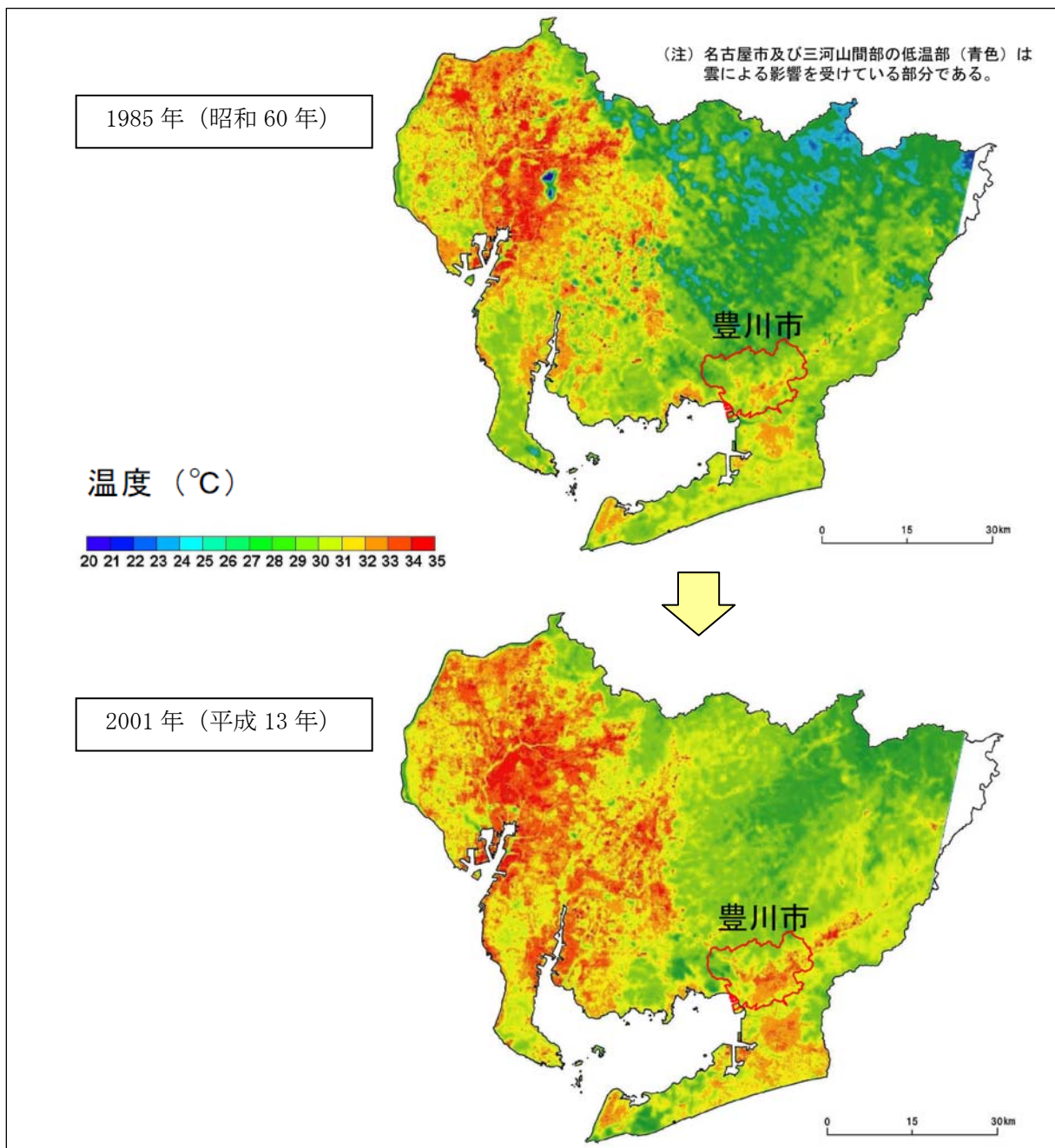
・線形（日平均）は日平均気温の推移を直線で近似したもの。

資料：気象庁（気象統計情報：名古屋地方気象台豊橋観測所各年データ）

### ■ 各年の平均気温の変化 ■

下の図は、地球観測衛星ランドサットの熱バンドデータをもとに、1985年（昭和60年）と2001年（平成13年）の地表面温度を示したものです。

愛知県全般に見られる状況と同様に、本市域においても市街地を中心として高温域が拡大している様子が見られます。



資料：ヒートアイランド緩和対策マニュアル（愛知県、平成16年12月）

■ 愛知県内の地表面温度分布の経年比較 ■

### (3) 農業環境

市街地周辺に広がる農地の緑は、都市環境に潤いと安らぎを与える重要な要素です。

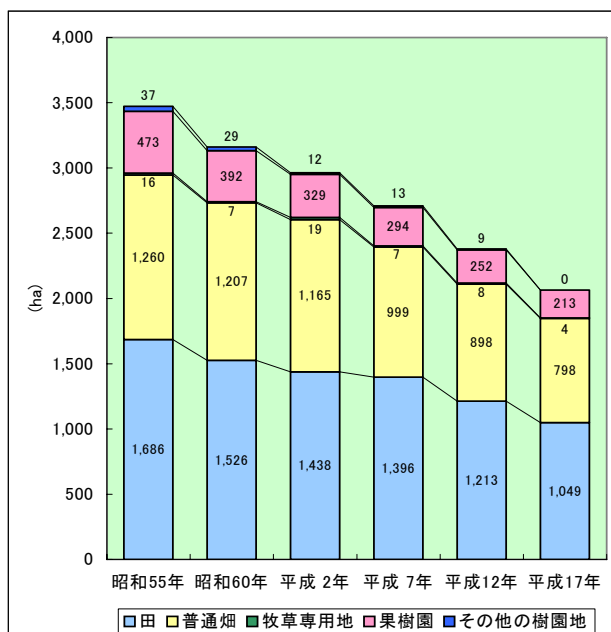
本市は、奥三河を水源とする清流豊川によって堆積された肥沃な耕地と、1年を通して温暖かつ適量の降雨に恵まれた自然的・地理的好条件の環境にあり、田原市、豊橋市に次ぐ県内第3位の農業産出額を誇っています。主な品目として、大葉、菊、バラなどの施設園芸が挙げられるほか、水稻、畜産など多様な農業が営まれています。

しかしながら、経営耕地面積は年々減少しており、昭和55年の3,472haに比べ、平成17年では2,064haと約6割の規模になっています。後継者不足や耕作放棄地の増加などの課題があり、国・県・市による耕作放棄地対策として、耕作放棄地を活用した景観作物の栽培などの取組を行っている地域もあります。

#### ■ 農業産出額県内上位都市（平成18年） ■

順位	市町村名	産出額 (千万円)	構成比 (%)
—	愛知県 計	31,083	100.0
1位	田原市	7,244	23.3
2位	豊橋市	4,738	15.2
3位	豊川市	1,925	6.2
4位	豊田市	1,104	3.6
5位	西尾市	1,100	3.5

資料：平成19年度 農林水産統計（東海農政局）



資料：2005年農林業センサス

#### ■ 経営耕地面積の推移 ■

**(4) 森林環境**

本市では市域北部から西部にかけては山地が連なり、森林が多く分布しています。森林は水源を涵養する機能のほか、土砂の流出を抑制する防災機能などを有しています。また、多くの動植物の生息・生育地として機能しており、生物多様性の保全の観点からも重要な資源といえます。

しかしながら、本市の森林面積は住宅地の開発などにより減少傾向にあります。平成15年から平成21年の6年間ににおいては43haが減少しています。

■ 森林面積 ■

	平成15年	平成21年	増減
森林面積	5,900 ha	5,857 ha	43 ha 減少

資料：土地に関する統計年報（愛知県、平成16年版・平成21年版）

緑いっぱい豊川市のまちを写そう 応募作品



「森林と稲」（萩町） 本馬清珠

## (5) 貴重な動植物

貴重な動植物の生息・生育環境として、天然記念物に指定されている“宮路山コアブラツツジ自生地”や“富士神社のコバノミツバツツジ自生地”、“財賀寺のヒメハルゼミと生息地”などが挙げられます。

このほか、愛知県が調査した「レッドデータブックあいち 2009」によると、本市及び周辺地域において、絶滅危惧ⅠA類が植物28種・動物4種、絶滅危惧ⅠB類が植物51種・動物12種など、数多くの貴重な動植物が分布しています。

多様な動植物とその生息・生育地である貴重な自然環境を保全するため、本市では環境基本計画\*に基づき、動植物の総合的な調査による現状把握を行うとともに、希少動植物の保護に努めることとしています。

■ 本市及び周辺地域 (注) における絶滅危惧種の数 ■

分類群名	県ランク					
	絶滅(EX)	絶滅危惧ⅠA類(CR)	絶滅危惧ⅠB類(EN)	絶滅危惧Ⅱ類(VU)	準絶滅危惧(NT)	
植物	維管束植物	14	28	50	84	81
	蕨類				5	1
	苔類			1	2	1
動物	哺乳類				1	7
	鳥類					
	爬虫類					
	両生類				1	1
	淡水魚類					
	昆虫類	2	1	7	4	14
	クモ類		2	5	8	4
	貝類		1		1	5
	総計	16	32	63	106	114

絶滅 (EX) : 我が国ではすでに絶滅したと考えられる種  
 絶滅危惧ⅠA類 (CR) : ごく近い将来における絶滅の危険性が極めて高い種  
 絶滅危惧ⅠB類 (EN) : ⅠA類ほどではないが、近い将来における絶滅の危険性が高い種  
 絶滅危惧Ⅱ類 (VU) : 絶滅の危険が増大している種  
 準絶滅危惧 (NT) : 現時点では絶滅危険度は小さいが、生息条件の変化によっては「絶滅危惧」に移行する可能性のある種

資料：レッドデータブックあいち 2009（愛知県環境部自然環境課）

(注)「レッドデータブックあいち 2009」では、右図のように県域をメッシュで区分し、それぞれのメッシュごとに絶滅危惧種などが挙げられています。上表では、本市域を含む14メッシュ（黄枠の範囲）に挙げられた種の数を集計しています。



1-2 社会的条件

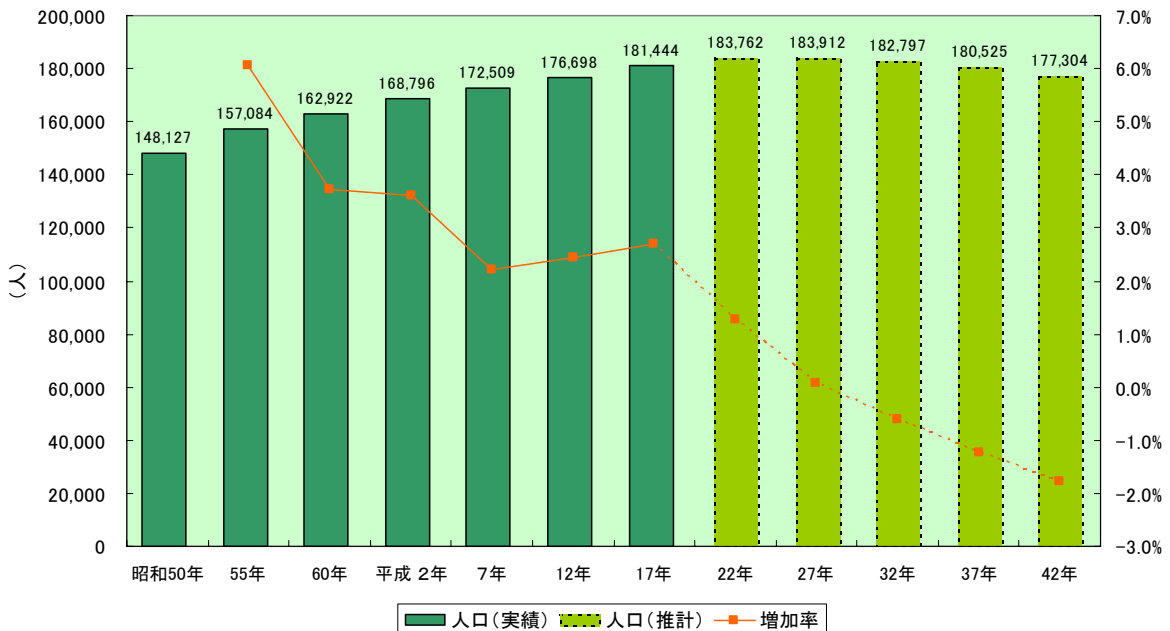
(1) 人口推移

国勢調査による本市の人口は、平成17年で181,444人となっており、年々増加しています。調査時点ごとの増加率を見ると、平成7年までは伸びが鈍化する傾向にありましたが、それ以後は増加率が上昇しています。

一方、全国的に人口減少社会が到来する中、国立社会保障・人口問題研究所の推計によると、本市の人口は平成27年の183,912人をピークに、その後減少していくことが予想されており、概ね20年後（平成42年）には177,304人になるものと推計されています。

	人 口 (人)			増 加 率		
	男	女	総数	男	女	総数
昭和 50 年	73,584	74,543	148,127			
55 年	78,111	78,973	157,084	6.15%	5.94%	6.05%
60 年	80,821	82,101	162,922	3.47%	3.96%	3.72%
平成 2 年	83,925	84,871	168,796	3.84%	3.37%	3.61%
7 年	85,601	86,908	172,509	2.00%	2.40%	2.20%
12 年	87,716	88,982	176,698	2.47%	2.39%	2.43%
17 年	90,368	91,076	181,444	3.02%	2.35%	2.69%

(注) 旧豊川市、旧一宮町、旧音羽町、旧御津町、旧小坂井町の合計



資料：（実績）国勢調査  
 （推計）「日本の市区町村別将来推計人口」（平成20年12月推計）国立社会保障・人口問題研究所

■ 人口推移 ■

## (2) 土地利用規制

各種の法律に基づく規制により保全が図られている緑は、次のとおりです。

### ①農業振興地域農用地区域

市街化区域<sup>\*</sup>内を除き、農地の大半が農業振興地域の整備に関する法律に基づく農用地区域<sup>\*</sup>に指定され、他用途への転用を制限するなどの保全が図られています。

### ②地域森林計画対象民有林・保安林など

森林は、森林法に基づき、本宮山山頂付近及び陸上自衛隊演習場（日吉原、千両）が国有林となっているほかは、大半が地域森林計画対象民有林<sup>\*</sup>に指定されています。さらに、水源の涵養や土砂流出の防備など、特に保全が重要な森林については保安林<sup>\*</sup>に指定され、木竹の伐採なども厳しく制限されています。

### ③自然公園

自然公園法に基づく自然公園として、御津山の一帯が三河湾国定公園に、本宮山の一帯が本宮山県立自然公園に、それぞれ指定されています。

### ④河川区域<sup>\*</sup>

河川法の適用を受ける一・二級河川及び準用河川<sup>\*</sup>は下表のとおりであり、一級河川豊川をはじめ、二級河川佐奈川、音羽川、御津川など多くの河川が市域を流れています。

■ 一・二級河川及び準用河川 ■

区分	水系	河川名	市内延長(m)	区分	水系	河川名	市内延長(m)
一級河川	豊川	豊川	13,100	準用河川	音羽川	代田川	900
		豊川放水路	4,420			稲束川	1,100
		善光寺川	2,510			天王川	1,220
		古川	2,244			西縄手川	1,000
		間川	1,015			明ヶ沢川	700
		境川(県管理区間)	349			下谷下川	1,700
二級河川	佐奈川	佐奈川	11,165			上谷下川	1,600
		帯川	4,963			千束川	1,400
	音羽川	音羽川	12,477			長根川	1,300
		白川	10,829			猿田川	1,000
		西古瀬川	7,078			室川	1,800
		安藤川	400			千鳥川	1,100
		山陰川	3,735			寺山川	400
	御津川	御津川	4,336			久田野川	500
紫川	紫川	1,697	山陰川		2,100		
準用河川	豊川	善光寺川	2,000		御津川	宮前川	760
		栗八名川	1,100			青木川	710
		松本川	150			深沢川	200
		宮出川	120		江川	430	
		走川	430		堺川	680	
	佐奈川	諏訪川	4,900		西方川	西方川	180
		土々川	2,043				

資料：豊川市道路維持課（平成22年4月1日）



**(3) 観光レクリエーション**

本市には、数多くの観光レクリエーション資源があります。利用者数の多い資源としては、神社仏閣では年間 300 万人以上が訪れる豊川稲荷をはじめ、砥鹿神社や三明寺などが、都市公園では赤塚山公園、東三河ふるさと公園などが挙げられます。

**■ 主な観光レクリエーション利用者数の推移 ■**

(単位:人)

	H16年	H17年	H18年	H19年	H20年
豊川稲荷	3,767,080	3,382,000	3,317,000	3,371,000	3,403,000
三明寺公園	133,500	120,000	125,000	125,000	125,000
諏訪の桜トンネル	37,000	37,000	40,000	40,000	45,000
観音山(財賀寺)	25,500	25,000	25,000	24,500	25,000
うなごうじ祭(若葉祭)	14,000	14,000	14,500	14,000	15,000
赤塚山公園(ぎょぎょランド)	349,474	318,247	310,266	354,050	353,384
豊川市民まつり	210,000	200,000	210,000	230,000	213,000
ウォーキングセンター(本宮山)	32,507	27,328	25,331	26,760	26,937
砥鹿神社	400,000	400,000	402,000	402,000	403,000
本宮パークカントリークラブ	35,000	35,000	35,000	34,000	24,861
本宮の湯	296,671	326,635	301,804	298,392	289,460
東三河ふるさと公園	-	-	149,249	198,225	198,132
宮路山	35,646	37,382	36,512	36,400	37,000
コバノミツバツツジまつり	22,786	24,088	17,069	22,409	24,695
宮路山もみじまつり	1,500	1,000	1,200	1,500	2,000
御津山園地	17,450	17,200	17,100	17,500	17,650
法住寺	37,600	37,500	37,400	37,000	36,500
三河臨海緑地日本列島	21,850	22,500	22,800	23,000	23,250
五社稲荷社	86,000	85,000	85,000	85,000	88,000
菟足神社 風まつり	41,000	40,000	42,000	42,000	40,000
柏木浜パターゴルフ場	25,615	25,843	24,935	21,484	19,458
小坂井B&G海洋センター (温水プール)	75,021	71,904	76,021	72,542	70,461

資料：豊川市商工観光課（平成22年2月）

#### (4) 水道

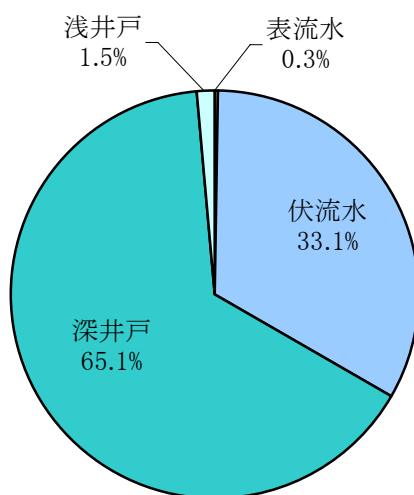
本市の水道は、自己水源と県水からの浄水受水により給水を行っており、自己水源と県水の取水割合は、ほぼ半々となっています。

取水施設は、自己水源として表流水1箇所、伏流水1箇所、深井戸18箇所（予備2箇所含む）、浅井戸1箇所があり、取水能力は29,980m<sup>3</sup>/日を有しています。このうち表流水は100m<sup>3</sup>/日とごく僅かで、大半を地下水に依存している状況です。

このようなことから、市域北部から西部にかけて分布する水源涵養機能を有する森林が、市民の快適な暮らしに重要な役割を果たしていることが分かります。

種別	表流水	伏流水	深井戸	浅井戸	計	深井戸 (予備)
箇所数 (箇所)	1	1	16	1	19	(2)
取水能力 (m <sup>3</sup> /日)	100	9,930	19,510	440	29,980	(900)
比率	0.3%	33.1%	65.1%	1.5%	100.0%	

自己水源種別取水能力比率



(注) 取水能力は、認可水量

資料：豊川市水道ビジョン(平成21年6月)

■ 自己水源の状況 ■

**(5) 主な景観資源**

本市の景観資源のうち、「美しい愛知づくり景観資源（愛知県）」において、以下の10点が選定されています。



音羽川に架かる旧御油橋と満開の桜



県立公園（東三河ふるさと公園）



国分尼寺



御油のマツ並木



笹踊り・七福神踊り



佐奈川 桜並木



獅子舞神楽



豊川稲荷門前町



宮路山のコアブラツツジ自生地



伊奈城趾公園

■ 美しい愛知づくり景観資源（本市の資源の抜粋） ■

## 1-3 緑地の現況

### (1) 都市公園の概況

都市公園は、都市公園法<sup>\*</sup>に規定される公園で、地域住民の身近なレクリエーションや憩いの場となる住区基幹公園や、比較的規模の大きな都市基幹公園などがあります。本市の代表的な都市公園としては、赤塚山公園、豊川公園、東三河ふるさと公園などが挙げられます。

“赤塚山公園（ぎょぎょランド）”は本市唯一の総合公園で、淡水魚博物館や水遊びのできる流水広場などもあり四季を通じて楽しめ、市民の人気も高く、年間30万人程度の来園者数を誇ります。また、“豊川公園”は市の中心部に位置する運動公園で、桜トンネルをはじめ桜の名所として広く知られており、4月の「さくらまつり」、5月の「おいでん祭」、8月の「手筒まつり」など、年間を通じて多様なイベントの会場としても親しまれています。“東三河ふるさと公園”は県が管理する広域公園で、計画面積174.8haのうち124.35haが供用されており（平成22年4月1日現在）、広大な丘陵地の自然の中に展望ツツジ園や憩いの広場、ピクニック園地などが配置されています。

住区基幹公園については、地域に最も身近な街区公園は市内に74箇所配置されていますが、その多くは土地区画整理事業<sup>\*</sup>などの面的基盤整備に伴い設置されたものです。



赤塚山公園



豊川公園



東三河ふるさと公園

### ■ 市内の代表的な都市公園 ■

(2) 都市公園の整備状況

平成 22 年 4 月 1 日現在での都市公園の整備状況は以下のとおりであり、供用面積は 214.54ha、市民一人あたりの整備水準は 11.75 m<sup>2</sup>/人となっています。

■ 都市公園の整備状況 ■

区 分				都市計画決定		供 用		
				箇所数	面積 (ha)	箇所数	面積 (ha)	整備水準 (m <sup>2</sup> /人)
都市公園	基幹公園	住基公	街区公園	74	20.75	83	22.77	1.25
			近隣公園	10	14.00	10	13.50	0.74
			地区公園	2	10.30	3	11.21	0.61
		都市基公	総合公園	1	25.10	1	25.10	1.38
			運動公園	2	32.40	1	12.62	0.69
		計			89	102.55	98	85.20
	広域公園			1	174.80	1	124.35	6.81
	都市緑地			5	20.76	4	4.99	0.27
	計			95	298.11	103	214.54	11.75

(注)・整備水準は、供用面積を平成 22 年 4 月 1 日現在の速報人口 (182,512 人) で除した値

・「供用」は、都市計画決定されていない都市公園を含む

資料：豊川市公園緑地課 (平成 22 年 4 月 1 日現在)

■ 都市公園（都市計画決定公園）一覧 ■

種別	公園名称	計画面積(ha)	供用済面積(ha)	供用率(%)	種別	公園名称	計画面積(ha)	供用済面積(ha)	供用率(%)	
広域公園	9・6・2 東三河ふるさと公園	174.80	124.35	71.1	街区公園	2・2・234 弥五郎第2公園	0.78	0.78	100.0	
運動公園	6・5・2 豊川公園	11.40	12.62	100.0		2・2・235 繩手上公園	0.43	0.43	100.0	
	6・5・4 豊川市スポーツ公園	21.00	0.00	0.0		2・2・236 住吉公園	0.20	0.20	100.0	
総合公園	5・5・4 赤塚山公園	25.10	25.10	100.0		2・2・237 松下公園	0.20	0.20	100.0	
地区公園	4・4・11 桜ヶ丘公園	4.10	4.10	100.0		2・2・238 三蔵子公園	0.08	0.08	100.0	
	4・4・12 弘法山公園	6.20	3.47	56.0		2・2・239 能仁堂公園	0.14	0.14	100.0	
近隣公園	3・3・21 三明公園	1.50	1.00	66.7		2・2・240 寄付公園	0.52	0.52	100.0	
	3・3・22 新道公園	1.60	1.60	100.0		2・2・241 下河原公園	0.25	0.25	100.0	
	3・3・23 本野原第1公園	1.50	1.50	100.0		2・2・242 一ノ坪公園	0.50	0.50	100.0	
	3・3・24 礼通公園	1.00	1.00	100.0		2・2・243 栗木山公園	0.15	0.15	100.0	
	3・3・25 稲荷公園	2.40	2.40	100.0		2・2・244 上新切西公園	0.15	0.15	100.0	
	3・3・26 大崎公園	1.40	1.40	100.0		2・2・245 上新切中公園	0.25	0.25	100.0	
	3・3・27 当古公園	1.20	1.20	100.0		2・2・246 上新切東公園	0.20	0.20	100.0	
	3・3・28 速通公園	1.00	1.00	100.0		2・2・247 東宮公園	0.12	0.12	100.0	
	3・3・29 小坂井中央公園	1.10	1.10	100.0		2・2・248 シャグジ公園	0.10	0.10	100.0	
	3・3・30 西部区画第1公園	1.30	1.30	100.0		2・2・249 大橋公園	0.25	0.25	100.0	
街区公園	2・2・201 美幸公園	0.15	0.15	100.0		2・2・250 谷川公園	0.37	0.37	100.0	
	2・2・202 曙公園	0.30	0.30	100.0		2・2・251 和通公園	0.26	0.26	100.0	
	2・2・203 桜木公園	0.20	0.20	100.0		2・2・252 豊公園	0.49	0.49	100.0	
	2・2・204 東桜木公園	0.11	0.11	100.0		2・2・253 牧野西公園	0.20	0.20	100.0	
	2・2・205 緑町公園	0.20	0.20	100.0		2・2・254 かけした公園	0.26	0.26	100.0	
	2・2・206 中央通公園	0.10	0.10	100.0		2・2・255 平成公園	0.10	0.10	100.0	
	2・2・207 金屋橋公園	0.18	0.18	100.0		2・2・256 グリーンヒル中公園	0.20	0.20	100.0	
	2・2・208 金屋公園	0.32	0.32	100.0		2・2・257 グリーンヒル北公園	0.35	0.35	100.0	
	2・2・209 松風公園	0.13	0.13	100.0		2・2・258 赤坂2号公園	0.16	0.16	100.0	
	2・2・210 塔ノ木公園	0.15	0.15	100.0		2・2・259 諏訪西公園	0.13	0.13	100.0	
	2・2・211 牛久保駅通公園	0.37	0.37	100.0		2・2・260 平尾西公園	0.31	0.31	100.0	
	2・2・212 高見公園	0.47	0.47	100.0	2・2・261 一宮錦公園	0.14	0.14	100.0		
	2・2・213 西塚公園	0.18	0.18	100.0	2・2・262 一宮社公園	0.21	0.21	100.0		
	2・2・214 堺公園	0.20	0.20	100.0	2・2・263 一宮幸公園	0.19	0.19	100.0		
	2・2・215 萩山公園	0.41	0.41	100.0	2・2・264 一宮緑公園	0.11	0.11	100.0		
	2・2・216 代田公園	0.21	0.21	100.0	2・2・265 一宮栄公園	0.19	0.19	100.0		
	2・2・217 市道公園	0.29	0.29	100.0	2・2・266 一宮泉公園	0.24	0.24	100.0		
	2・2・218 向山公園	0.68	0.68	100.0	2・2・267 下長山公園	0.27	0.27	100.0		
	2・2・219 農ヶ上公園	0.24	0.24	100.0	2・2・268 牛久保岸下公園	0.92	0.92	100.0		
	2・2・220 野中公園	0.79	0.79	100.0	2・2・269 西部区画第2公園	0.27	0.00	0.0		
	2・2・221 東光公園	0.20	0.20	100.0	2・2・270 西部区画第3公園	0.27	0.00	0.0		
	2・2・222 西豊公園	0.48	0.48	100.0	2・2・271 西部区画第4公園	0.27	0.27	100.0		
	2・2・223 太通公園	0.24	0.24	100.0	2・2・272 西部区画第5公園	0.27	0.00	0.0		
	2・2・224 曾通公園	0.28	0.28	100.0	2・2・273 小田淵公園	0.31	0.44	100.0		
	2・2・225 本野原第2公園	0.46	0.46	100.0	2・2・274 やよい公園	0.09	0.09	100.0		
	2・2・226 教谷原公園	0.23	0.23	100.0	都市計画公園 計			277.35	203.21	73.3
	2・2・227 寺町公園	0.18	0.18	100.0	都市緑地	8	行明緑地	1.10	0.28	25.5
2・2・228 市木公園	0.17	0.17	100.0	9		緑町緑地	1.40	0.00	0.0	
2・2・229 椎木公園	0.32	0.32	100.0	10		三上緑地	15.80	4.54	28.7	
2・2・230 サツキ公園	0.07	0.07	100.0	16		酢屋下緑地	0.16	0.16	100.0	
2・2・231 新道第2公園	0.66	0.66	100.0	19		御油松並木公園	2.30	0.00	0.0	
2・2・232 諏訪公園	0.58	0.58	100.0	都市計画緑地 計			20.76	4.98	24.0	
2・2・233 弥五郎第1公園	0.30	0.30	100.0	都市計画公園・緑地 合計			298.11	208.19	69.8	

資料：豊川市公園緑地課（平成22年4月1日現在）

■ 都市公園（都市計画決定されていない都市公園）一覧 ■

種別	公園名称	供用済面積(ha)	種別	公園名称	供用済面積(ha)	種別	公園名称	供用済面積(ha)
地区公園	佐奈川散策公園	3.64	街区公園	上野公園	0.13	街区公園	赤坂台3号公園	0.46
街区公園	桜田公園	0.10		さぬき屋敷公園	0.09		サンヒル赤坂東山中央公園	0.10
	東山公園	0.27		穂ノ原公園	0.14		大橋繩手公園	0.34
	ふれあい公園	0.13		上野中どおり公園	0.14	都市緑地	1号・2号緑地	0.01
	当古橋公園	0.29		赤坂台1号公園	0.51	都市公園・緑地 合計		6.35

資料：豊川市公園緑地課（平成22年4月1日現在）

**(3) 公共施設緑地の整備状況****① 児童遊園、ちびっこ広場、緑地・広場の整備状況**

児童遊園やちびっこ広場、緑地・広場が市内各所に設置されており、これらは街区公園の機能を補完する施設として、身近なレクリエーションの場となっています。

**■ 児童遊園、ちびっこ広場、緑地・広場の整備状況 ■**

区 分	箇 所 数	面 積
児童遊園	36	2.65 ha
ちびっこ広場	56	3.11 ha
緑地・広場	34	38.49 ha
面積 計		44.25 ha

資料：豊川市公園緑地課（平成22年4月1日現在）

**② 史跡公園の整備状況**

本市には、文化財を活用した「史跡公園」として、以下の3箇所が設置されています。

**■ 史跡公園の整備状況 ■**

名 称	面 積
三河国分尼寺跡史跡公園	1.66 ha
伊奈城趾公園	0.38 ha
花ヶ池公園	0.04 ha
面積 計	2.08 ha

資料：豊川市生涯学習課（平成22年4月1日現在）

### ③その他広場などの整備状況

①、②以外の公共施設緑地として、体育施設・運動広場、市民小菜園、市営墓園、公立教育施設、公共公益施設が設置されています。

#### ■ その他広場などの整備状況 ■

名 称	面 積
いこいの広場	8.70 ha
曙グラウンド	1.57 ha
足山田野球場	0.76 ha
上長山庭球場	0.64 ha
東上野球場	1.69 ha
柏木浜パターゴルフ場	1.11 ha
音羽運動公園	7.34 ha
小坂井庭球場	0.39 ha
市民小菜園（9箇所）	1.26 ha
市営墓園（3箇所）	4.14 ha
公立教育施設（41箇所）	49.68 ha
公共公益施設（50箇所）	73.00 ha
面積計	150.28 ha

（注）公立教育施設、公共公益施設の面積は植栽地及びグラウンドを図上求積により計測

資料：市民小菜園 …豊川市農務課（平成22年9月1日現在）

市民小菜園を除く…豊川市市民体育課・環境課（平成22年4月1日現在）

### （4）民間施設緑地の状況

民間施設緑地として、豊川稲荷や砥鹿神社をはじめとする社寺境内地などが挙げられます。これらでは、古来の祭りが催され、その土地固有の景観を形成するなど、地域に親しまれる緑地であるとともに、市街地にあっては貴重なまとまりある緑地となっています。

### （5）地域制緑地の状況

地域制緑地は法や条例により担保される緑地であり、本市においては、農業振興地域の整備に関する法律に基づく農業振興地域農用地区域、森林法に基づく地域森林計画対象民有林や保安林、河川法に基づく河川区域、自然公園法に基づく三河湾国定公園や本宮山県立自然公園などが挙げられます。これらは、本市の骨格となる緑地であり、地域の環境や景観を形成しています。



**(6) 緑地現況量の計量**

本市の緑地現況量を整理すると下表のとおりとなります。

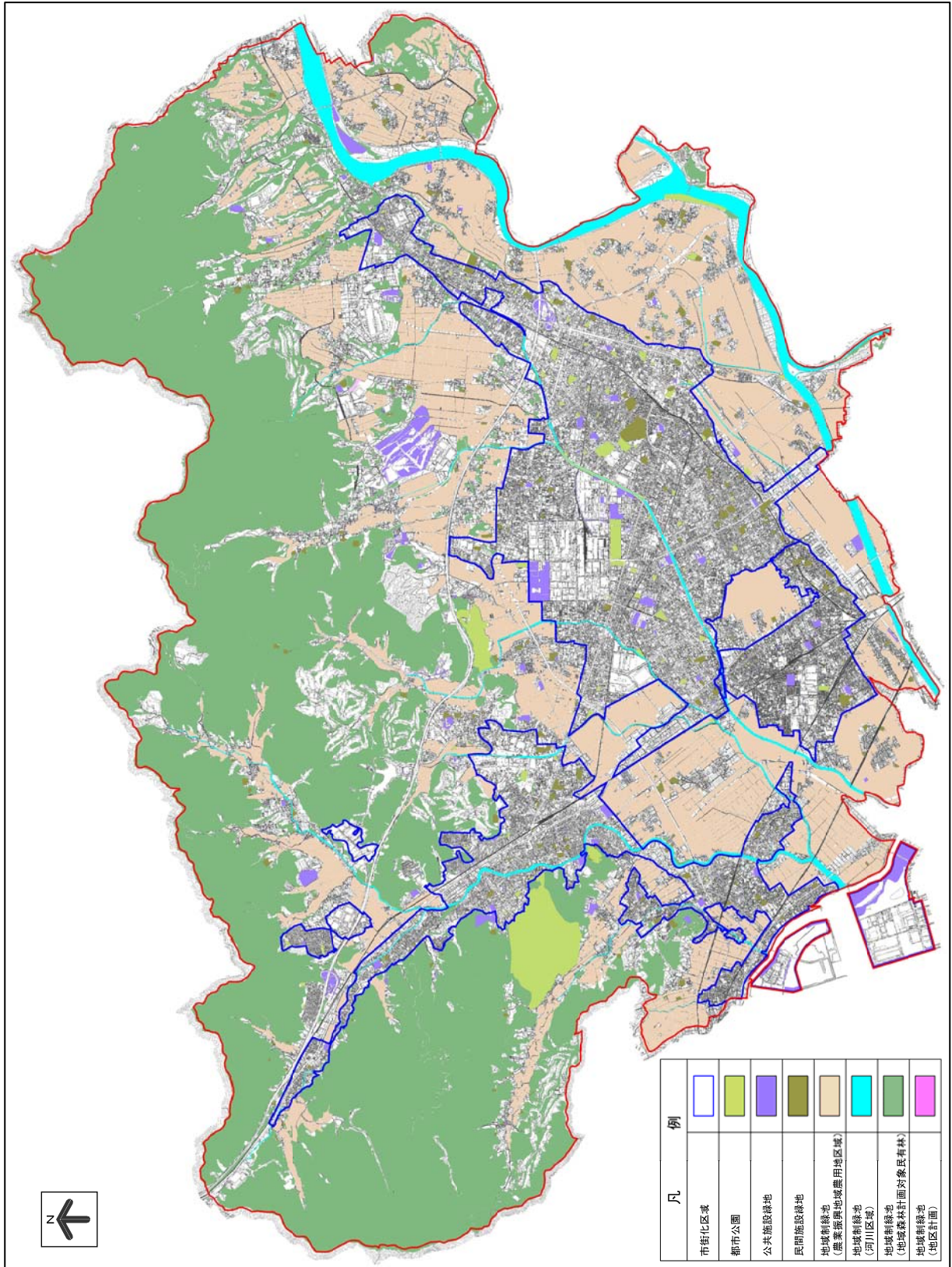
都市計画区域\*全域では、施設緑地と地域制緑地を併せ、緑地が約 9,454ha 存在し、平成 22 年 4 月 1 日現在の都市計画区域面積 (16,063ha) に対して約 59%を占めています。これらの緑地の大半は地域制緑地の地域森林計画対象民有林や農業振興地域農用地区域となっています。市街化区域における緑地は約 295ha であり、都市計画区域全域の緑地に占める割合は 3%程度となっています。

■ 緑地現況量の計量 ■

(単位 : ha)

区 分		市街化区域 (1)	市街化調整区域 (2)	都市計画区域 (1) + (2)	
施設 緑地	都市公園	51.23	163.31	214.54	
	公共施設緑地	101.90	94.71	196.61	
	民間施設緑地	69.58	63.88	133.46	
	施設緑地 合計	222.71	321.90	544.61	
地域 制 緑地	法によるもの	農業振興地域農用地区域	0.00	2,889.00	2,889.00
		河川区域	60.86	394.14	455.00
		地域森林計画対象民有林	15.28	5,730.20	5,745.48
	条例等によるもの	地区計画	0.00	0.99	0.99
地域制緑地 合計		76.14	9,014.33	9,090.47	
重複部		3.45	177.29	180.74	
緑地現況量 総計		295.41	9,158.94	9,454.34	

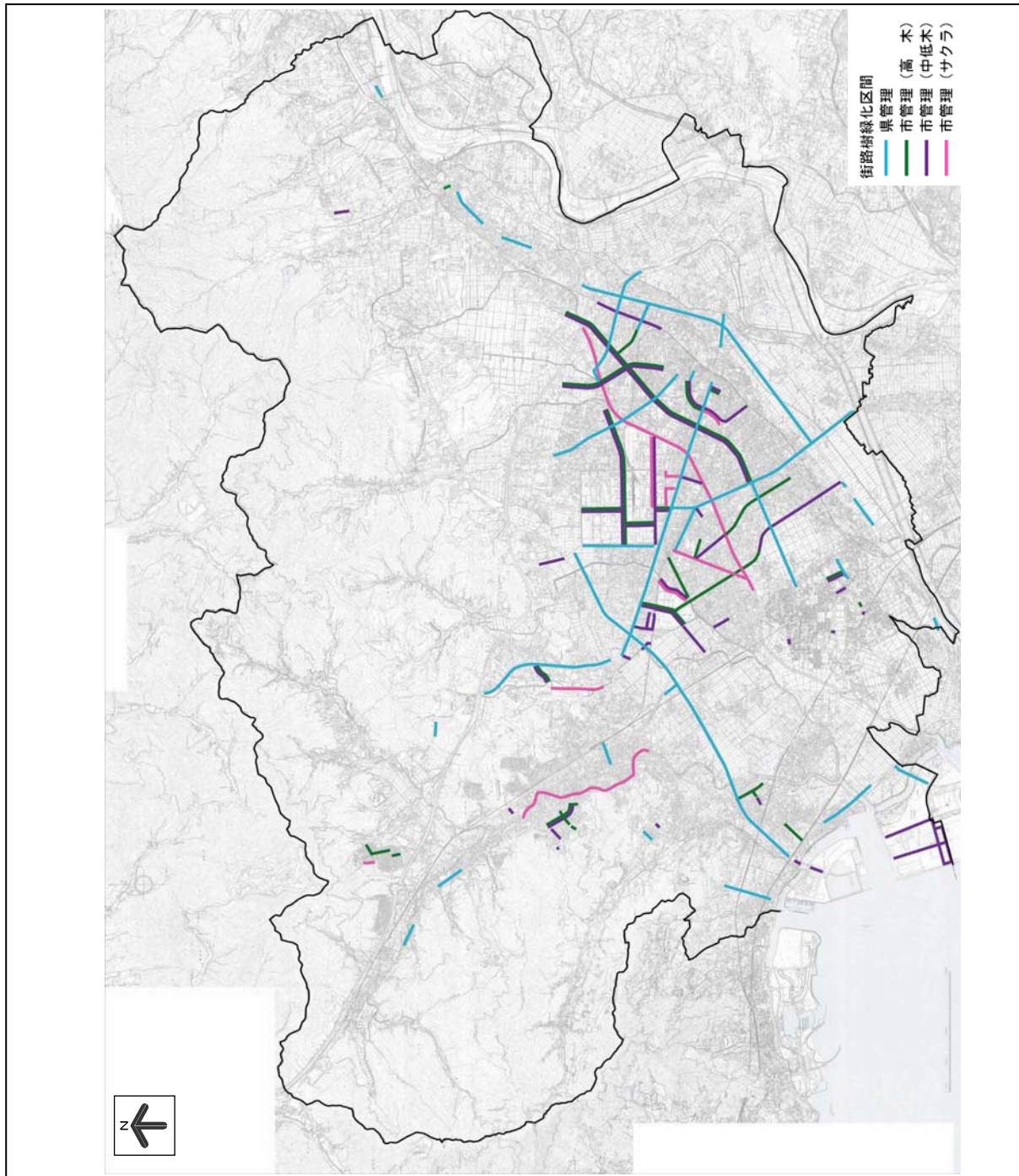
(注)・図上求積による数値を含む  
 ・四捨五入の関係上、必ずしも合計値は一致しない



■ 緑地現況図 ■

(7) 道路緑化の状況

街路樹などにより緑化された道路は下図のとおりであり、市の中心部では緑化された区間が多くなっています。特に、佐奈川沿いをはじめ、多くの区間で街路樹に「サクラ」を用いており、本市の特徴的な市街地景観を演出しています。



資料：愛知県東三河建設事務所・豊川市道路維持課（平成21年4月）

■ 道路緑化状況図 ■

## (8) 緑化及び環境活動に関連する市民活動（アダプトプログラム制度）

アダプトプログラム制度とは、市民と行政が協力し合い、まちの環境美化を推進していくため、市内の道路、公園、河川などの公共施設を市民が美化ボランティアとなって管理する制度です。本市においては平成20年1月15日から豊川市公共施設アダプトプログラム制度\*を導入しており、平成22年1月4日現在、61の個人や団体が登録し、延べ1,200人以上の市民が活動を行っています。

### ■ アダプトプログラム制度登録者・団体 ■

番号	団体名	人数	活動場所	活動内容
1	***	4	音羽川	草刈
2	グリーングラス	10	赤坂2号公園	草刈、ごみ拾い
3	***	1	天王川	草刈、土砂浚渫
4	会下山地区花を育てる会	32	市道会下山線	草刈
5	***	1	市道会下山3号線	竹やぶの剪定
6	***	1	市道上林中大田面線外2路線	草刈、ごみ拾い
7	***	1	市道平山下室線外3路線	草刈
8	東海理化(株)環境美化チーム	61	市道御園赤坂台線外3路線	ごみ拾い
9	ランクス	23	赤坂台地内の市道全路線、赤坂台1号～4号公園	草刈、ごみ拾い
10	***	1	音羽川、明ヶ沢川	草刈
11	***	3	山陰川	草刈
12	***	1	市道下田1号線外3路線、音羽川	草刈
13	***	1	音羽川	草刈
14	***	1	市道東名北側線、東名南側道2号線	ごみ拾い
15	***	1	市道東山線	草刈、ごみ拾い
16	穴観音の桜を守る会	13	穴観音公園、市道御津高校線	草刈、ごみ拾い
17	***	1	市道市田野口線(赤早稲橋)	草取り、ごみ拾い
18	***	2	市道篠東野口(その3)線外9路線	ごみ拾い
19	豊川信用金庫	210	市道中通線外75路線	ごみ拾い
20	***	2	市道代田八幡線外3路線	草取り、ごみ拾い
21	***	1	金屋橋公園	ごみ拾い、清掃
22	豊川市開発ビル(株)	8	市道諏訪三丁目諏訪四丁目1号線外6路線	ごみ拾い
23	***	1	遠通公園、市道東部区画117号線外4路線	ごみ拾い
24	藤目会	3	稲荷公園、名鉄稲荷口駅駐輪場	ごみ拾い、草取り
25	日本車輛製造(株)豊川製作所 環境委員会	24	市道公園線外4路線、豊川公園(体育館周辺)	ごみ拾い
26	中部ガス(株)豊川営業所	16	市道中通線	ごみ拾い、草取、側溝清掃
27	(株)共栄社	30	曙公園	草刈
28	中部電力(株)豊川営業所	53	市道公園線外5路線	ごみ拾い
29	信楽会	17	音羽川、市道川田的場線外1路線	草刈、ごみ拾い
30	NPO法人えがお	10	市道御油区画2号線外9路線	ごみ拾い
31	ユニー(株)アピタ豊川店	5	市道諏訪三丁目諏訪四丁目1号線外4路線	ごみ拾い
32	国府東部フラーボランティア	25	市道久保善善寺線外1路線、名鉄国府駅ロータリー	草取り、ごみ拾い
33	***	1	上新切中公園	草取り、ごみ拾い
34	***	1	一宮緑公園	草取り、ごみ拾い
35	イモル(株)徳ノ原第2工場	110	市道徳ノ原二丁目3号線外3路線	草取り、ごみ拾い
36	イモル(株)野口工場	15	市道野口平尾線外1路線	草取り、ごみ拾い
37	イモル(株)一宮工場	13	市道足山田小金2号線	草取り、ごみ拾い
38	***	1	市道北岡一宮旭線、一宮東部ちびっこ広場	草取り、ごみ拾い
39	東部中正門側の歩道を美しくする会	14	市道古宿樽井(その2)線	ごみ拾い、草取り
40	東部中と西豊公園の間の道路を美しくする会	16	市道西豊二丁目西豊三丁目1号線外2路線	ごみ拾い、草取り
41	西豊公園の西側を特にきれいにする会	15	西豊公園	ごみ拾い、草取り
42	***	1	市道八幡大宝山10号線外1路線	ごみ拾い
43	豊川イーグルススポーツ少年団	70	新道公園	ごみ拾い、草取り
44	南加藤新聞店	24	市道下新切3号線(402)外3路線	ごみ拾い
45	ガステックサービス㈱	23	市道篠東野口(その3)線外1路線	ごみ拾い、草取り
46	G.B宮裏チーム	6	一宮公園	ごみ拾い、草取り
47	いろえんびつ	3	豊川公園、市道豊橋豊川線外2路線	ごみ拾い
48	榎佐協組	11	佐脇浜臨海緑地	ごみ拾い
49	中部ケーブルネットワーク株式会社豊川局	20	市道中通線	ごみ拾い
50	美環好楽衆	2	代田川、市道代田一丁目蔵子五丁目3号線	ごみ拾い、川床さらい
51	八幡桜を育てる会	65	西古瀬川右岸、左岸側道路(番皿橋～宮前橋)	草取り、ごみ拾い
52	諏訪中百々の会	20	諏訪公園	ごみ拾い、草取り
53	「花・緑・夢“タウン”とよかわ」活動グループ	130	豊川公園(キュバティーン広場)、豊橋豊川線	草取り、ごみ拾い
54	音羽川の会	59	音羽川(五反橋～御油大橋)、市道御油美世賜2号線外5路線	草刈り、ごみ拾い
55	ボランティアグループ ハナロ	17	市道篠東野口(その3)線外4路線	ごみ拾い
56	音羽向山大池の会	15	向山大池、市道向山線	草刈、ごみ拾い
57	倉橋建設㈱	8	市道国府為当線(10029)外5路線	ごみ拾い
58	***	1	市道前田豊川線(10003)外14路線	ごみ拾い
59	***	1	遠通公園	ごみ拾い
60	***	1	葦川(四ツ谷橋～篠田橋)	草刈
61	豊津クリーングループ	4	市道新地4号線(754)外1路線	草取り、ごみ拾い
	計	1,230		

(注)「\*\*\*」は個人登録

資料：豊川市道路維持課（平成22年1月4日現在）

## 1-4 市民の意向

## (1) 豊川市緑の基本計画市民意向調査の概要

本計画の策定にあたり、市民の意向を反映するため、「豊川市緑の基本計画市民意向調査」を実施しました。調査の概要は以下のとおりです。

- 調査対象者 : 豊川市民、合併を予定している小坂井町民（調査時点）
- 調査期間 : 平成21年11月26日【発送】～平成21年12月11日【投函期限】
- 抽出方法 : 多段抽出法（年齢、学区）により、20歳以上の豊川市民1,500人、小坂井町民200人の計1,700人を抽出。
- 調査方法 : 郵送配布・郵送回収

回収状況	配布票数	宛先不明	回収票数	回収率
	1,700	5	786	46.4%

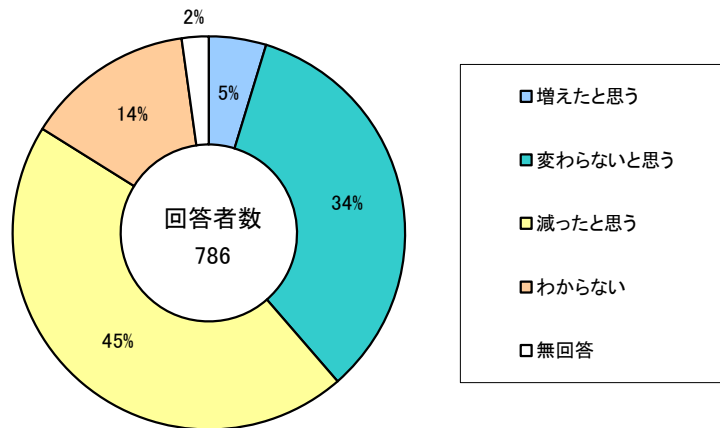
## ●設問の内容

設問	設問の内容
1	あなたの性別は。
2	あなたの年齢は。
3	あなたの主たる職業は。
4	小学生以下のお子さんがいますか。
5	あなたが住んでいる「小学校区」は。
6	豊川市または小坂井町に住んで何年になりますか。
7	緑の役割として、大切なものは何だと思えますか。
8	豊川市と小坂井町を合わせた区域の「緑」について、特徴的な場所や施設はどこ（何だ）と思えますか。
9	豊川市内または小坂井町内の「緑」の様子について、どのように感じていますか。
10	豊川市内または小坂井町内の「緑の量」について、どのように感じていますか。
11	概ね過去10年を考えると、豊川市または小坂井町の「緑の量」は、どのように変化したと思えますか。
12	豊川市と小坂井町を合わせた区域の「緑」を守り増やすために、今後行うべきことは何だと思えますか。
13	現在どのような緑化の活動を実施していますか。あるいは、今後どのような緑化の活動であれば参加しようと思えますか。
14	豊川市と小坂井町を合わせた区域の「緑」を市民との協働によって守り増やすために、行政の施策として重要なことは何だと思えますか。
15	「公園・広場の数」に対する満足度をお聞かせください。
16	どのような機能をもった公園・広場が増えていけばよいと思えますか。
17	どの程度の距離や大きさの公園・広場が増えていけばよいと思えますか。
18	今後の公園・広場の整備を考える場合の視点についての重要度をお聞かせください。
19	豊川市公共施設アダプトプログラム制度についての認知度をお聞かせください。
20	身近な公園・広場などの日常管理（除草、清掃など）について、今後はどのように行うのが良いと思えますか。
21	①豊川市または小坂井町における緑化や緑の保全、公園の整備に対しての提案、意見 ②豊川市内または小坂井町内の好きな緑（場所や花木など）

## (2) 調査の結果 (抜粋)

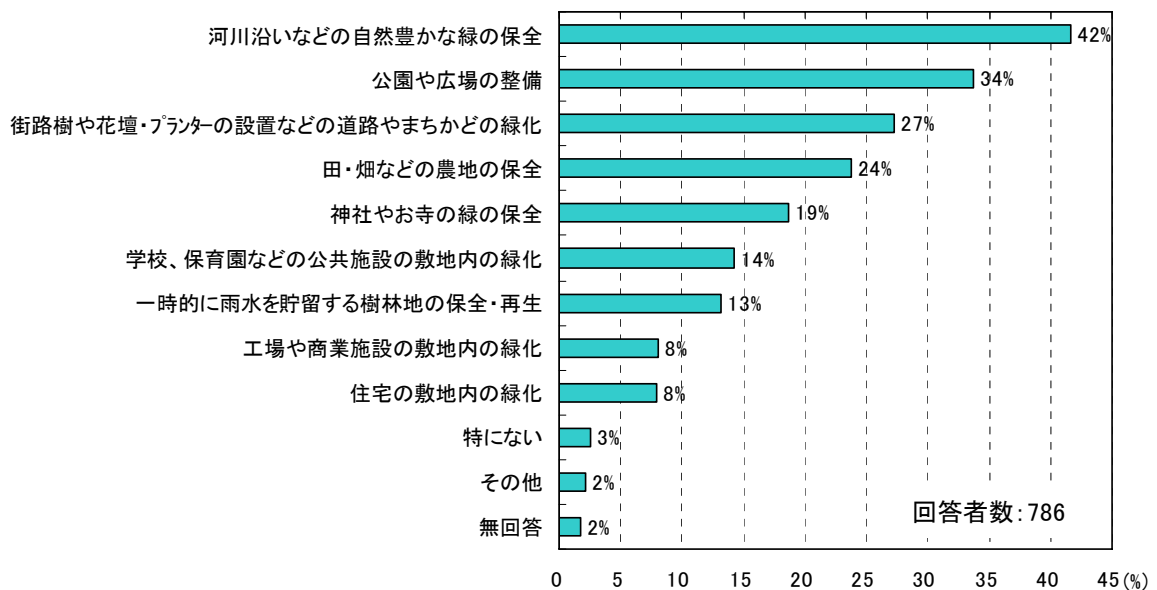
### ①概ね過去 10 年間の豊川市の「緑の量」の変化について

概ね過去 10 年間の豊川市全域における「緑の量」については、「減ったと思う」と回答した人が 45%と最も多く、次いで「変わらないと思う」と回答した人が 34%となっています。



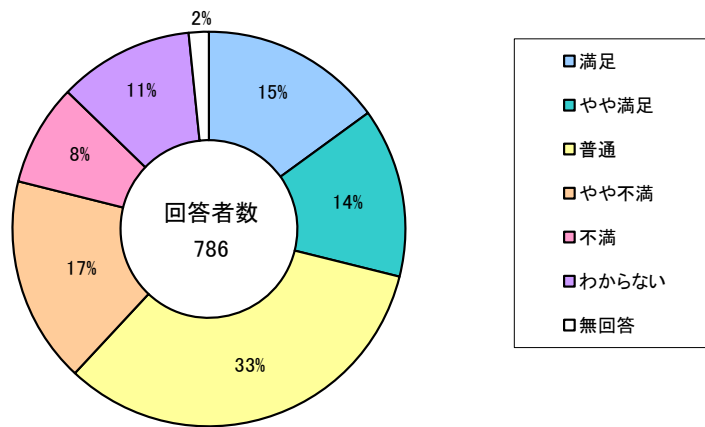
### ②「緑」を守り増やすために、今後行うべきことについての意向 (2つまで回答)

本市の「緑」を守り増やすために今後行うべきことについては、「河川沿いなどの自然豊かな緑の保全」と回答した人が最も多く、次いで「公園や広場の整備」と回答した人が多くなっています。



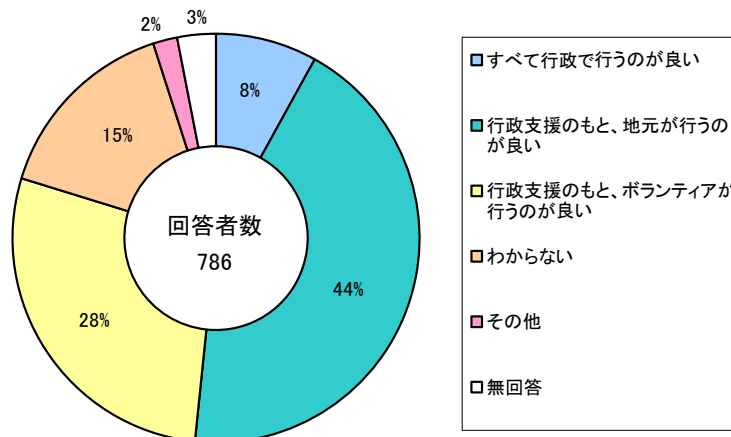
③ 「公園・広場の数」に対する満足度

本市の「公園・広場の数」に対する満足度については、「普通」と回答した人が最も多く、次いで「やや不満」と回答した人が多くなっています。



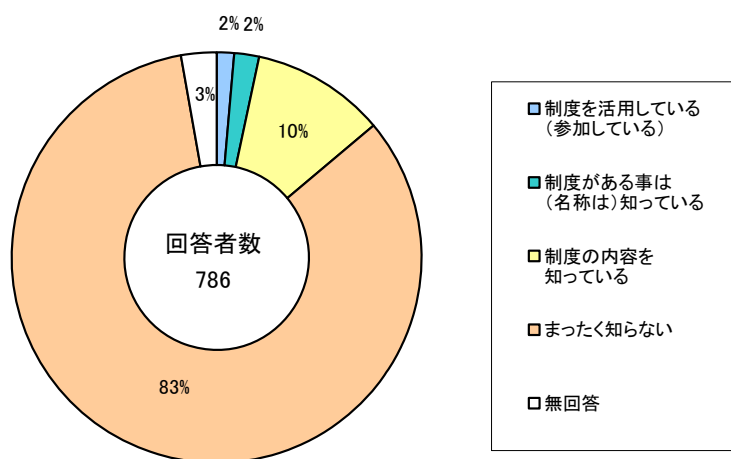
④ 身近な公園・広場などの日常管理（除草、清掃など）の方法についての意向

身近な公園・広場などの日常管理については「行政支援のもと、地元が行うのが良い」と回答した人が最も多く、次いで「行政支援のもと、ボランティアが行うのが良い」と回答した人が多くなっています。

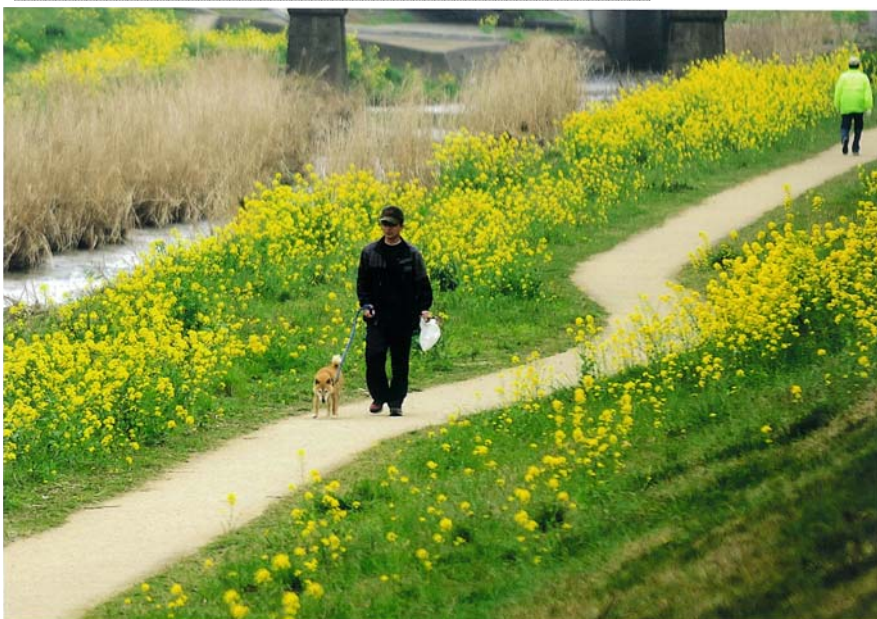


### ⑤豊川市公共施設アダプトプログラム制度の認知度について

豊川市公共施設アダプトプログラム制度について「まったく知らない」と回答した人が 83%と最も多く、次いで「制度の内容を知っている」と回答した人が 10%となっています。



### 緑いっぱい豊川市のまちを写そう 応募作品



「さわやか散歩道」(佐奈川) 加藤謹一



1-5 地区別緑の現況

市民の暮らしや自然の風土が育んできた緑をより細かく把握するため、地区ごとに緑の現況を整理します。

地区の区分は、日常の生活圏と概ね整合する、小学校区を基本単位とし、豊川市の地勢を象徴する河川（河川流域）や土地利用の特性から市域を6地区に区分します。



■ 各地区に該当する小学校区 ■

地域	該当する小学校区
中部東地区	豊川小、桜木小、三蔵子小、金屋小、豊小
東部地区	東部小、一宮東部小、一宮西部小、一宮南部小
北部地区	千両小、平尾小、萩小、長沢小、赤坂小
西部地区	国府小、御油小、御津北部小、御津南部小
南部地区	牛久保小、天王小、小坂井西小、小坂井東小
中部西地区	中部小、八南小、桜町小、代田小

## 中部東地区

### ●地勢の概況

- ・豊川市の中心に位置し、地区の大半が市街化区域に指定されています。
- ・地区の中央を佐奈川が縦断しています。
- ・地区の緑は、公園や社寺の緑、民間・公共施設内の緑、さらに、北部に広がる農用地によって構成されています。
- ・地区全域が標高 50m以下の平坦な地形であり、住宅や商業用地の土地利用となっています。
- ・愛知県や豊川市が管理する幹線的な道路は、街路樹により緑化されています。

### ●位置図



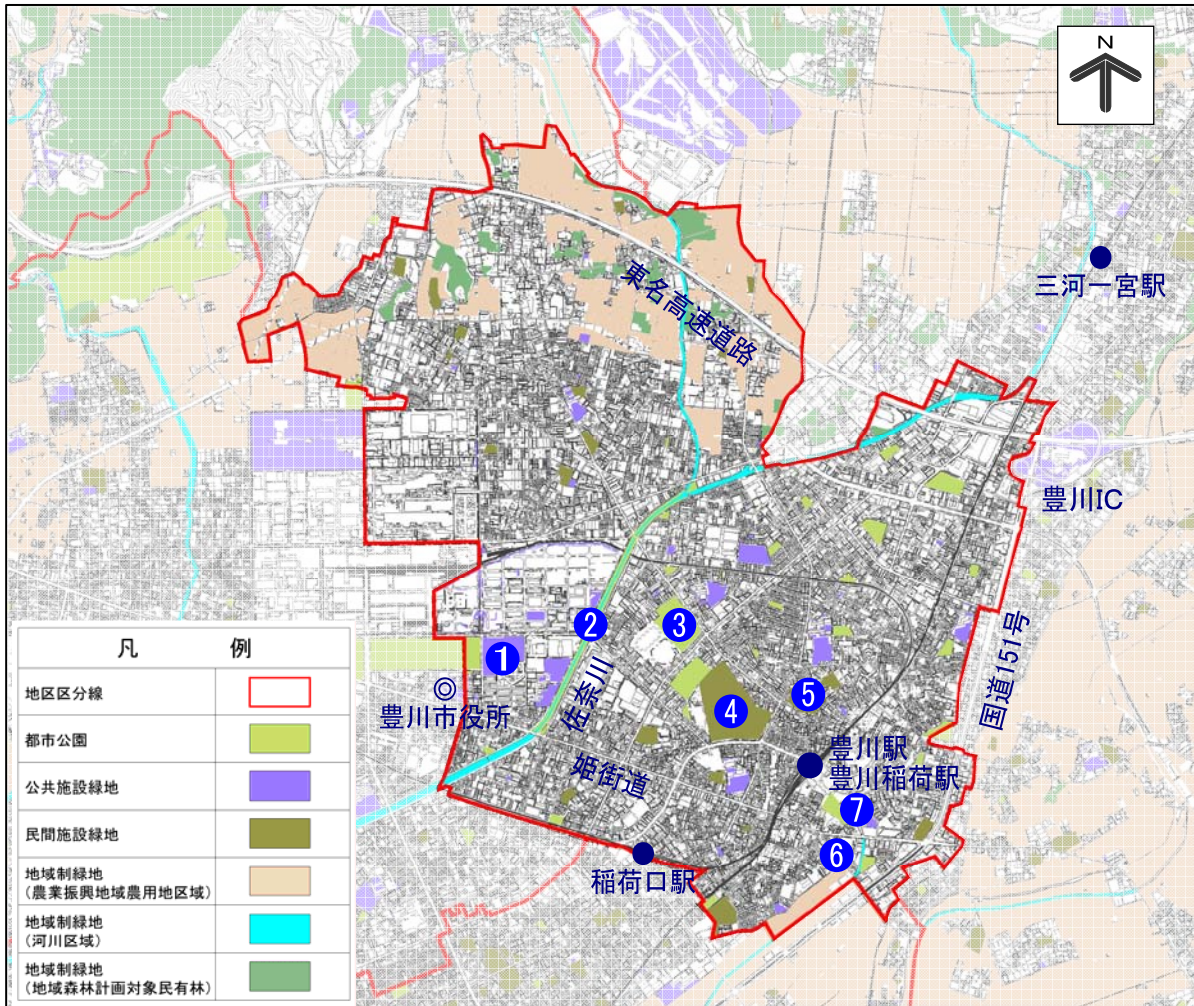
### ●特徴的な緑

- ・佐奈川は、水際に植物が繁り、生物の生息・生育地となっているほか、遊歩道が整備されており、桜を見ながら散歩を楽しむことができます。
- ・豊川稲荷は、春季・秋季大祭などに年間 340 万人が訪れます（平成 20 年実績）。また、境内地及びその周辺にまとまった緑地があり、市街地の気象緩和にも貢献しています。
- ・国・県の文化財に指定される建造物が複数存在する三明寺や、奉納綱火が県指定の無形民俗文化財に指定され、豊川夏祭りの拠点にもなっている進雄神社の社叢林は、市街地の貴重な緑となっています。
- ・桜ヶ丘公園及び豊川高等学校グラウンドが市街地におけるまとまったオープンスペースとなっており、広域避難場所\*に指定されています。

### ●市民意向調査結果

- ・概ね 10 年間の「緑の量」の変化については、「減ったと思う」と回答した人が最も多く（47%）となっています。
- ・「緑」を守り増やすために、今後行うべきこととして、「公園や広場の整備」に対する意向が最も高く（20%）となっています。
- ・公園・広場の数については、55%の人が満足していない状況にあります。
- ・身近な公園・広場などの日常管理の方法については、74%の人が「行政支援のもと、地元やボランティアが行うのが良い」と回答しています。

●地勢概況図



(注) 図中の丸番号は、写真の番号に対応しています。



①自衛隊グラウンド



②佐奈川の桜並木



③桜ヶ丘公園



④豊川稲荷



⑤進雄神社



⑥豊川駅東土地区画整理(豊川駅東地区計画)



⑦三明寺

## 東 部 地 区

### ●地勢の概況

- ・地区東部を南北に豊川が流れ、河川に沿って自然堤防が形成されています。
- ・地区北部に木曾山系の本宮山（標高789.2m）が位置し、帯川（佐奈川の支川）が流れています。
- ・河川に沿った平地部の広範の区域は、農用地としての土地利用となっています。
- ・地区中央から北東方向にかけて市街地が形成されています。

### ●位置図



### ●特徴的な緑

- ・本宮山一帯は、自然の景勝地として自然公園に指定されるとともに、ハイキングなどの自然とふれあう場として利用されています。
- ・豊川は、淵や瀬、河畔林\*がある豊かな自然景観を形成しています。
- ・砥鹿神社は年間約40万人が訪れる観光資源となっており（平成20年実績）、「砥鹿神社のケヤキ」は県の天然記念物に指定されています。
- ・宝円寺のシダレザクラ、砥鹿神社奥宮（本宮山）の社叢しやそうなど、県の天然記念物に指定される緑が分布しています。
- ・帯川には市の天然記念物に指定される「帯川のホタル」が生息しています。
- ・いこいの広場は、身近な健康づくりやスポーツ・レクリエーションの拠点として利用されています。

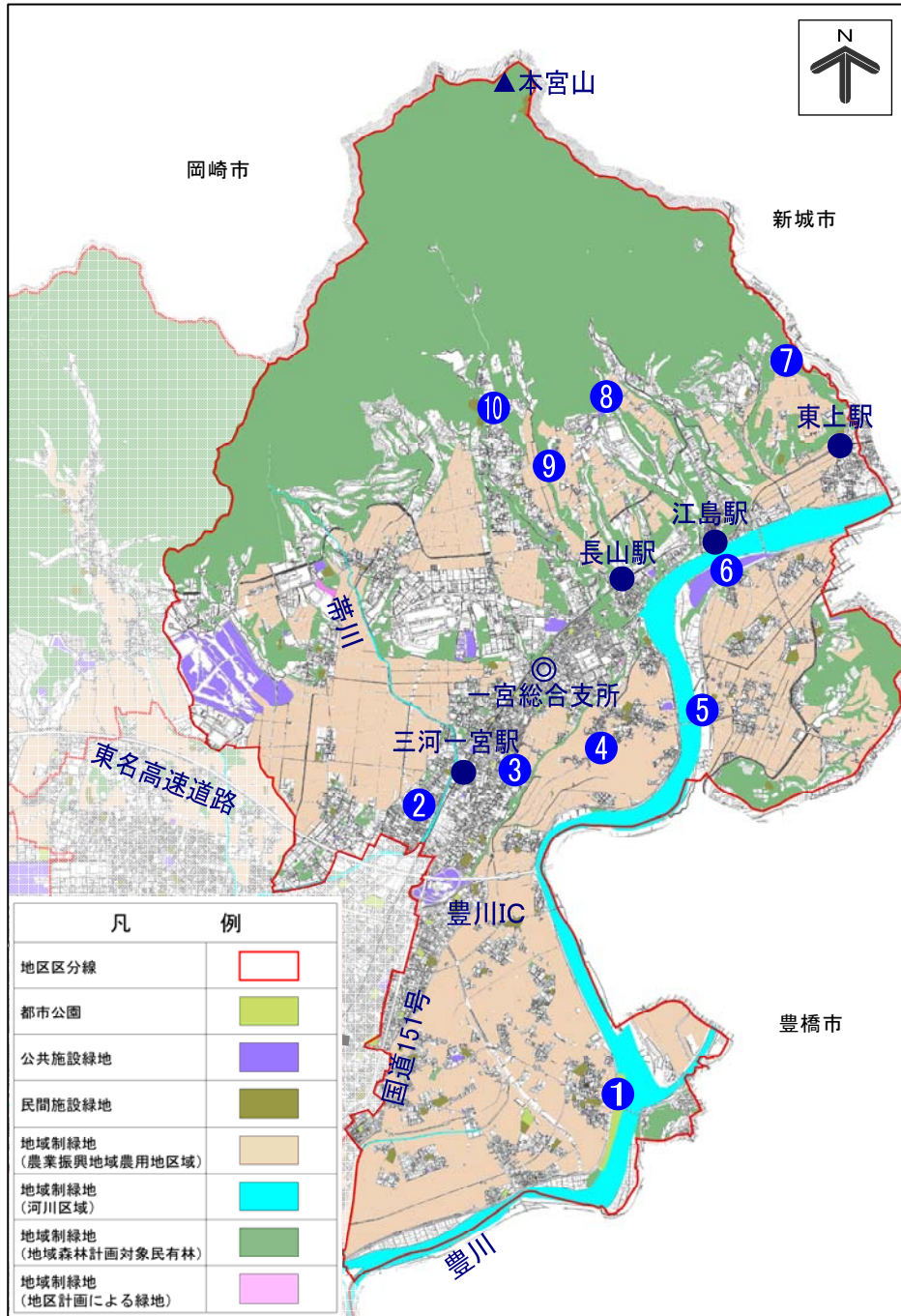


砥鹿神社奥宮

### ●市民意向調査結果

- ・概ね10年間の「緑の量」の変化については、「減ったと思う」と回答した人が最も多く（44%）となっています。
- ・「緑」を守り増やすために、今後行うべきこととして、「河川沿いなどの自然豊かな緑の保全」に対する意向が最も高く（21%）となっています。
- ・公園・広場の数について、54%の人が満足していない状況にあります。
- ・身近な公園・広場などの日常管理の方法について、72%の人が「行政支援のもと、地元やボランティアが行うのが良い」と回答しています。

●地勢概況図



①三上緑地



②一宮大木土地区画整理予定地



③砥鹿神社



④大和の大イチョウ



⑤金沢グラウンド

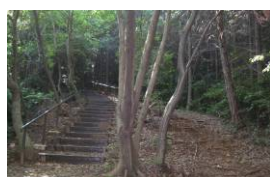


⑥いこいの広場

(注) 図中の丸番号は、写真の番号に対応しています。



⑦牛の滝



⑧手取山公園建設地



⑨本宮山ウォーキングセンター



⑩しだれ桜(宝円寺)

## 北部地区

### ●地勢の概況

- ・市街化区域は、音羽川、国道1号の沿線と音羽蒲郡IC周辺の一部地区に限られ、大半が市街化調整区域となっています。
- ・地区の中央から西部には音羽川と山陰川（音羽川支流）が流れています。
- ・北部の観音山や西部の宮路山などに広範に分布する緑、山腹に位置する財賀寺や富士神社周辺の拠点的な緑が当地区の特徴ある緑として挙げられます。
- ・山間を流れる音羽川、山陰川の沿川に、農地が形成されています。

### ●位置図



### ●特徴的な緑

- ・コバノミツバツツジまつり（富士神社）には約2万人、宮路山のもみじまつりには約2千人が訪れ（平成20年実績）、美しい緑の景観が観光客の目を楽しませています。
- ・宮路山コアブラツツジ自生地、富士神社のコバノミツバツツジ自生地、財賀寺のヒメハルゼミと生息地、財賀寺のツガなど、市の天然記念物に指定される緑が分布しています。
- ・音羽運動公園は、身近な健康づくりやスポーツ・レクリエーションの拠点として利用されています。

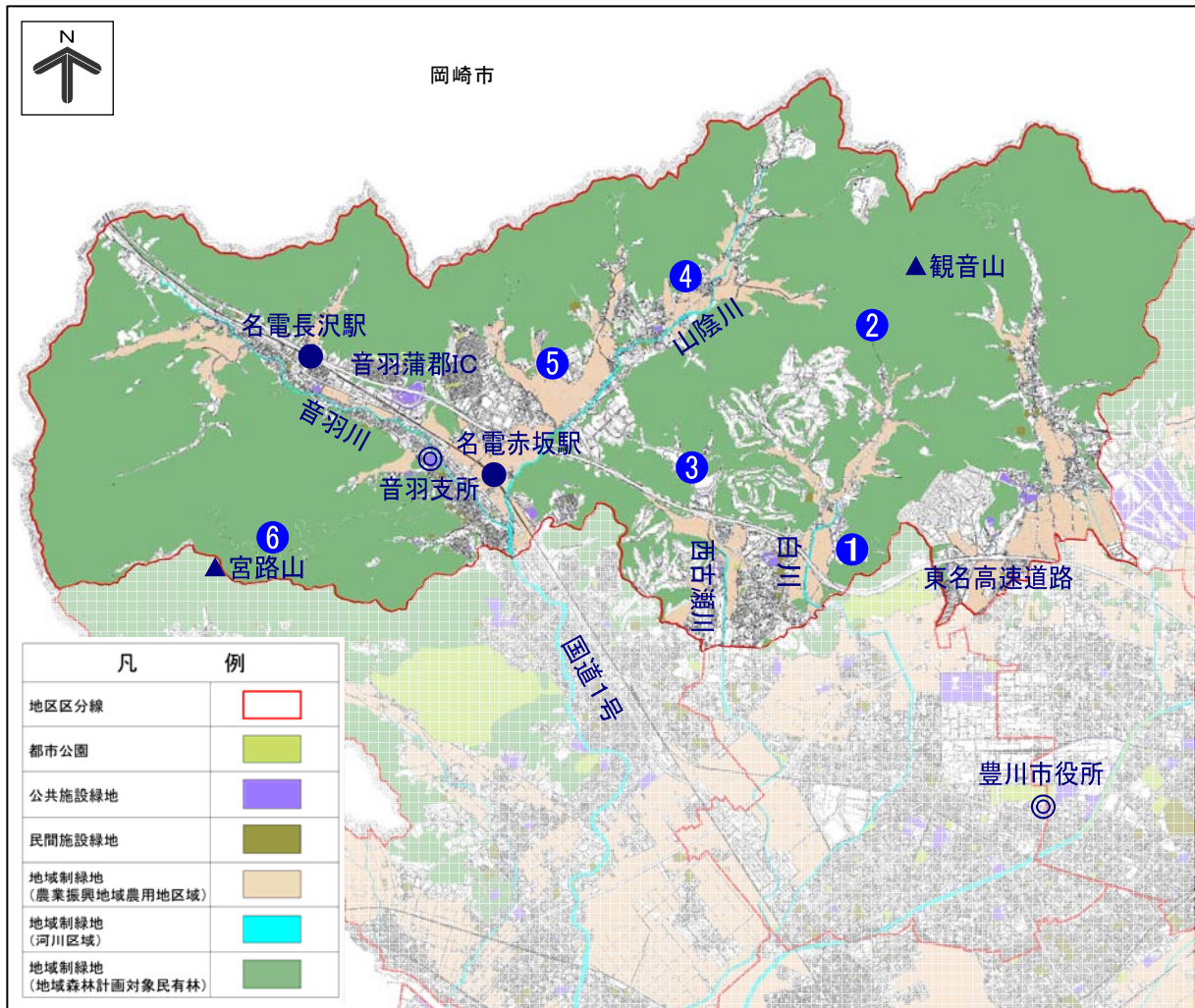


観音山

### ●市民意向調査結果

- ・概ね10年間の「緑の量」の変化については、「変わらないと思う」と回答した人が最も多く（51%）となっています。
- ・「緑」を守り増やすために、今後行うべきこととして、「河川沿いなどの自然豊かな緑の保全」に対する意向が最も高く（24%）となっています。
- ・公園・広場の数について、56%の人が満足していない状況にあります。
- ・身近な公園・広場などの日常管理の方法について、74%の人が「行政支援のもと、地元やボランティアが行うのが良い」と回答しています。

●地勢概況図



(注) 図中の丸番号は、写真の番号に対応しています。



①ゆうあいの里



②財賀寺



③駒場調整池



④富士神社(コバノミツバツツジ)



⑤音羽運動公園



⑥宮路山

## 西部地区

### ●地勢の概況

- ・県営公園である東三河ふるさと公園が位置し、本市のみならず東三河地域の重要な緑の拠点となっています。
- ・臨海部には、三河港港湾計画に基づき、日本最大の臨海緑地である三河臨海緑地が位置しており、地区の緑の拠点となっています。
- ・本地区は音羽川や御津川の河口があり、三河湾を臨む臨海地区となっています。
- ・音羽川が地区を南北に縦断し、川沿いは市街化区域に指定されています。大半の区域は、市街化調整区域となっています。
- ・地区西部の五井山から御津山などに連なる山地の山間や音羽川・御津川の川沿いに農地が形成されています。

### ●位置図



### ●特徴的な緑

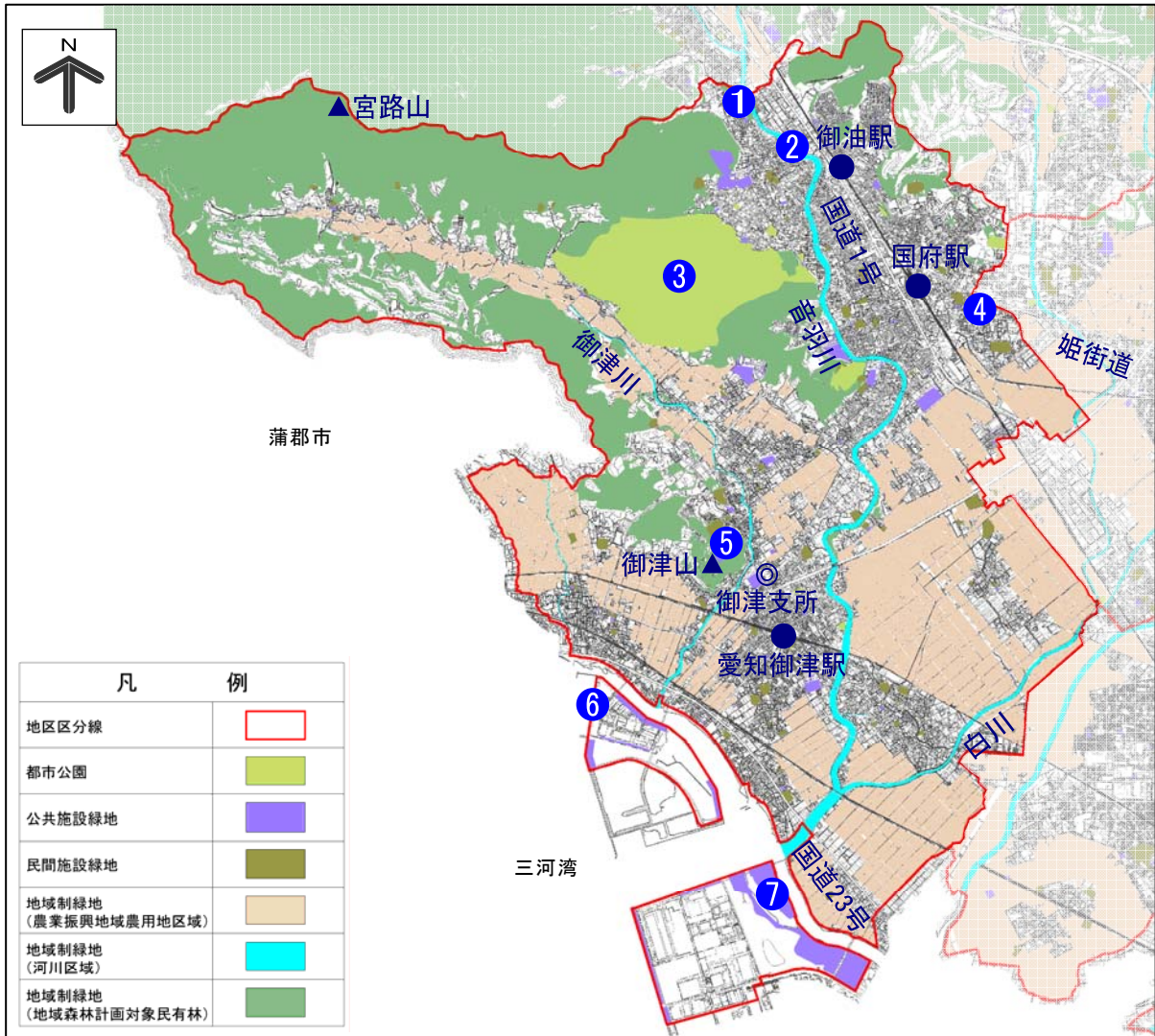
- ・東三河ふるさと公園は、広域的なレクリエーションの拠点であり、自然とふれあうイベントが開催されるなど、年間約 20 万人が訪れます。このほか、御津山園地は年間約 2 万人の利用があります（平成 20 年実績）。
- ・国の天然記念物に指定される、御油のマツ並木の緑が存在します。
- ・御津山には市の天然記念物に指定される「御津山のヒメハルゼミの棲息地」があります。
- ・音羽川には遊歩道が整備されており、桜を見ながら散策を楽しむことができます。
- ・三河臨海緑地は、散策や軽スポーツ、海の眺めを楽しむ場として利用されています。

### ●市民意向調査結果

- ・概ね 10 年間の「緑の量」の変化については、「減ったと思う」と回答した人が最も多く（44%）となっています。
- ・「緑」を守り増やすために、今後行うべきこととして、「河川沿いなどの自然豊かな緑の保全」に対する意向が最も高く（21%）となっています。
- ・公園・広場の数について、54%の人が満足していない状況にあります。
- ・身近な公園・広場などの日常管理の方法について、76%の人が「行政支援のもと、地元やボランティアが行うのが良い」と回答しています。



●地勢概況図



(注) 図中の丸番号は、写真の番号に対応しています。



①御油のマツ並木



②音羽川



③東三河ふるさと公園



④三河総社



⑤御津山



⑥御津マリーナ



⑦三河臨海緑地(日本列島)

## 南部地区

### ●地勢の概況

- ・地区南部を豊川放水路、西部を佐奈川が流れ、概ね平坦な地形において、耕地整理が行われた優良な農地と市街地により構成されています。
- ・市街化区域では、住居系を中心として、商業系、工業系の用途地域の指定がされています。
- ・主に地区東部に位置する、愛知県や豊川市が管理する幹線的な道路は、街路樹により緑化されています。

### ●位置図



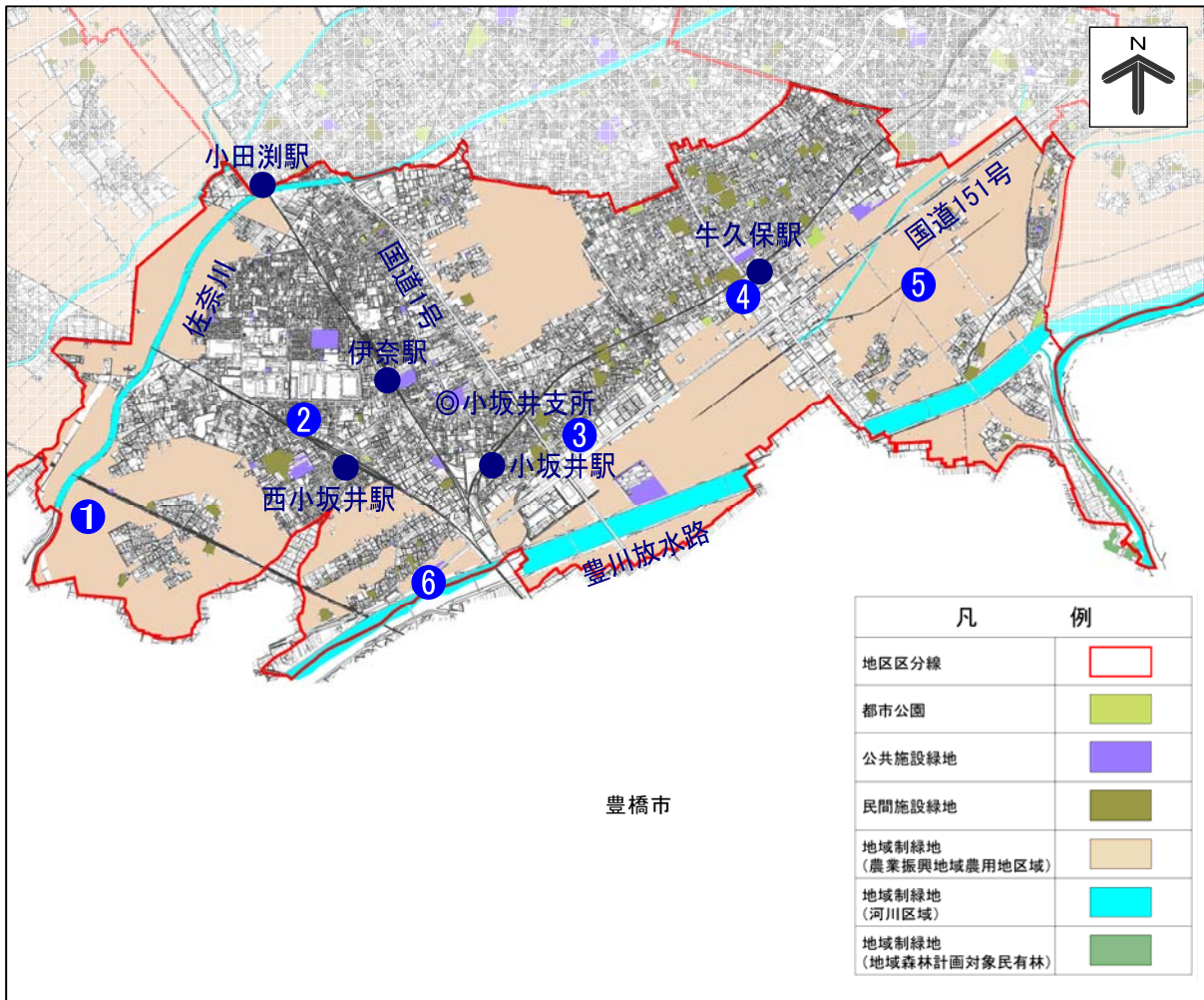
### ●特徴的な緑

- ・国の天然記念物に指定される、牛久保のナギの緑が存在します。
- ・市の史跡に指定される五社稲荷古墳などを有する五社稲荷社には、まとまった社叢林しゃそうりんが存在します。
- ・徳川家の家紋「葵の紋」発祥ゆかりの地である伊奈城趾は、土塁や本丸の郭跡が保存され、史跡公園として整備されています。

### ●市民意向調査結果

- ・概ね 10 年間の「緑の量」の変化については、「減ったと思う」と回答した人が最も多く（46%）なっています。
- ・「緑」を守り増やすために、今後行うべきこととして、「河川沿いなどの自然豊かな緑の保全」に対する意向が最も高く（22%）なっています。
- ・公園・広場の数について、59%の人が満足していない状況にあります。
- ・身近な公園・広場などの日常管理の方法について、65%の人が「行政支援のもと、地元やボランティアが行うのが良い」と回答しています。

●地勢概況図



(注) 図中の丸番号は、写真の番号に対応しています。



①伊奈城趾公園



②小坂井中央公園



③五社稲荷社



④牛久保のナギ



⑤優良農地



⑥柏木浜パターゴルフ場

## 中部西地区

### ●地勢の概況

- ・地区の東部を佐奈川、中央部を白川、西部を西古瀬川が流れています。
- ・豊川公園や赤塚山公園が当地区の緑の拠点となっています。
- ・豊川市役所が立地する地区であり、大半が市街化区域に指定されていますが、地区北部から西部にかけて、農地が形成されています。
- ・地形は概ね平坦であり、市街化区域では、住居系を中心として、商業系、工業系の用途地域の指定がされています。
- ・愛知県や豊川市が管理する幹線的な道路は、街路樹により緑化されています。

### ●位置図



### ●特徴的な緑

- ・豊川公園は、おいでん祭や手筒まつり、桜まつりなどの祭りの会場に利用されています。また、災害時の広域避難場所、身近なレクリエーションの場など多様な機能を有しています。
- ・三河国分尼寺跡は、中門と回廊の一部が復元され、史跡公園として整備されています。
- ・赤塚山公園は、淡水魚水族館や小動物園などがあり、多様なレクリエーションを楽しむことができます。

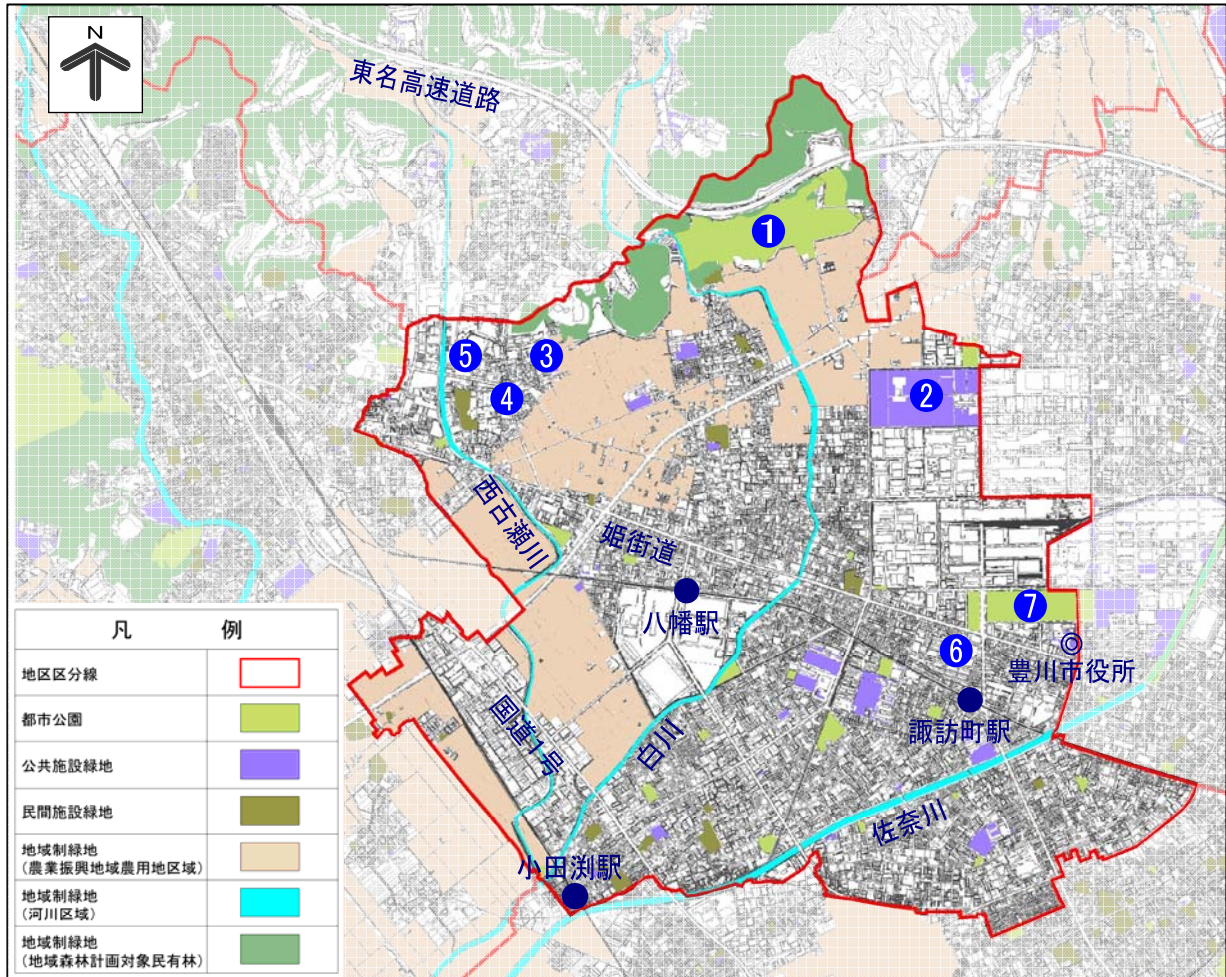


八幡宮

### ●市民意向調査結果

- ・概ね10年間の「緑の量」の変化については、「変わらないと思う」と回答した人が最も多く（51%）となっています。
- ・「緑」を守り増やすために、今後行うべきこととして、「河川沿いなどの自然豊かな緑の保全」に対する意向が最も高く（25%）となっています。
- ・公園・広場の数について、69%の人が満足していない状況にあります。
- ・身近な公園・広場などの日常管理の方法について、70%の人が「行政支援のもと、地元やボランティアが行うのが良い」と回答しています。

●地勢概況図



(注) 図中の丸番号は、写真の番号に対応しています。



①赤塚山公園



②名古屋大学太陽地球環境研究所



③三河国分尼寺跡



④三河国分寺跡



⑤豊川西部土地区画整理



⑥諏訪町駅周辺



⑦豊川公園

緑いっぱい豊川市のまちを写そう 応募作品



「かわせみが棲む音羽川」(並木橋) 安藤康生

### コラム 『ヒメハルゼミ』

本市の指定文化財の中で、希少動物類の生息地としては“帯川のホタル”“財賀寺のヒメハルゼミと生息地”“御津山のヒメハルゼミの棲息地”があります。

このうち、ヒメハルゼミはセミ科の中でも最も小さく（体長 23～30mm）、7月上旬から下旬にかけて短期集中で発生し、シイ・カシなどの林で間欠的に一斉に鳴きます。成虫・幼虫ともにシイ・カシなどの樹液のみを食性とし、生息地はそれらの樹木が茂る社寺境内林、いわゆる「鎮守の森」などに限られます。

本州以南に分布し、北限産地の新潟県・茨城県をはじめ、各所で天然記念物に指定されており、県内では本市のほか、蒲郡市・新城市・岡崎市などで指定されています。

(資料：文化財ナビ愛知)



ヒメハルゼミ